

あとがき

編集顧問

越智隆弘
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

糸満盛憲
荻野利彦
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
富田勝郎
戸山芳昭
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
黒川高秀
腰野富久
紺野慎一
柿田喜三郎
酒 匂 崇
桜井 実

澤村誠志
杉岡洋一
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田讓治
山田治基
吉川靖三

今、日本の医療を取り巻く環境は極めて厳しい状況下にあり、間違いなく曲がり角にきている。先日、2008年時調査による我が国の平均寿命が報告されたが、女性は86.05歳で連続24年世界一、男性は79.29歳で、前年より1ランク下げ世界第4位であった。このように、わが国はそれなりに豊かで世界でもトップの長寿を享受できる国になったが、この長寿は民族性、食、環境、教育、経済力などに加えて、高い医療の質と医療関係者の努力、そして、国民皆保険制度などによるところが大きい。その結果、少子化と相俟って、世界に類を見ない超高齢化が進んでいる。数年後には65歳以上の高齢者比率は30%(約3300万人)、2050年には40%に達すると推測され、少子化、労働人口激減という大変な人口構造になる。そして医療界では、ここ数年、わが国の総医療費は33兆円強と対GDP比8%程度に押さえられ、OECD平均に比べても2%程度低い。さらに医師不足、地方医療の崩壊、小児・産科・救急医療崩壊、医療訴訟急増…等々が現実化している。今こそ、日本の医療体制、医療制度そのものを根本から見直す時期にきている。ここで対策を講じないと、以前のイギリスで起こった医療崩壊と同様な経過を辿ることが危惧される。ところで、国民10万人に対する医師数は日本が206人、OECD平均は300人であり、民主党は政権交代になれば医師数を単純に1.5倍にすると公約している。そして、OECD並みに医療費比率を引き上げようとしている。しかし、数字合わせだけで、崩壊寸前にあるわが国の医療が改善するとは思えない。日本と米国の医療制度は大きく異なっているが、ここで単純に比較してみると、総医療費GDP比率は日本8.1%、米国15.3%、病院数は9,200と6,400、病床数/1,000人は12.8床と3.6床、在院日数は28.3日と6.7日、医師数/bedsは15.6人と77.8人、同様に看護師数/bedsは42.8人と230.0人、そして女性医師比率は14.3%と21.8%である。このデータを皆さんはどのように判断するか。米国もオバマ大統領が医療改革を公約に掲げているが、両国とも極めて困難な医療環境に陥っていることは事実である。解決策は何か。その基本はすべての国民がそれぞれの医療制度、問題点などを根本から理解し、健康維持のため国民自らが医療費を含めた相当の痛みを伴う覚悟をすることである。そしてこの医療改革には、医療側の置かれた環境を根本から改革していく国の施策が必要である。そのためには、医療側と行政、そして国民が一体となって医療改革を進める以外に道はない。21世紀の日本の医療を崩壊させないためにも、今がその最後のチャンスである。食、環境、エネルギー、教育、経済と同様に日本の医療、特に高齢者医療の問題は大きい。

さて、本号のシンポジウムでは「整形外科術後感染の実態と予防対策」が取り上げられている。計画通りに進んだ手術も、術後感染により患者への負担は倍増し、時には信頼関係が失われて訴訟問題へと発展することすらある。本稿では特に術後感染に対する予防対策が詳細に記載されており、少しでも術後感染を生じさせないためにもぜひ参考にしていただきたい。さらに「臨床経験」や「症例報告」にもそれぞれ示唆に富んだ論文が掲載されている。秋の学会シーズンの中、移動中の飛行機や列車の中で本誌をご一読いただけると幸いです。(戸山芳昭)

臨床整形外科 (第44巻第10号)

2009年10月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520円(本体2,400円+税5%)

[2009年ぎめ予約購読料29,400円、
電子ジャーナル閲覧オプション付
38,300円(配送料弊社負担)]

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。